

神戸川（出雲市所原町）の災害対策 ～災害対策等緊急事業推進費～

平成18年7月16日から22日の梅雨前線豪雨により、島根県では記録的な降雨となり、波多雨量観測所【県】では最大日雨量225mm、最大時間雨量67mmを記録しました。これに伴う出水により1級河川神戸川が氾濫し、深いところでは3m以上の浸水となるなど、多くの家屋が浸水する被害が発生しました。

甚大な浸水被害が発生した出雲市所原町において、災害対策費のうち災害対策等緊急事業推進費に関する配分決定がありました。これを受け島根県では、再度災害防止の観点から河道掘削や堤防嵩上等の河川整備を推進していきます。

■ 災害対策等緊急事業推進費の概要

- ・事業名 : 広域基幹河川改修事業（斐伊川水系神戸川）
- ・事業区間 : 出雲市所原町 3.0km
- ・事業内容 : 河道掘削、築堤、護岸整備等により河川の流下能力を向上させます。
- ・事業期間 : 平成18年度
- ・配分事業費 : 7億円

注) 災害対策が必要な区間5.0kmのうち、今回は3.0km分7億円の決定がありました。

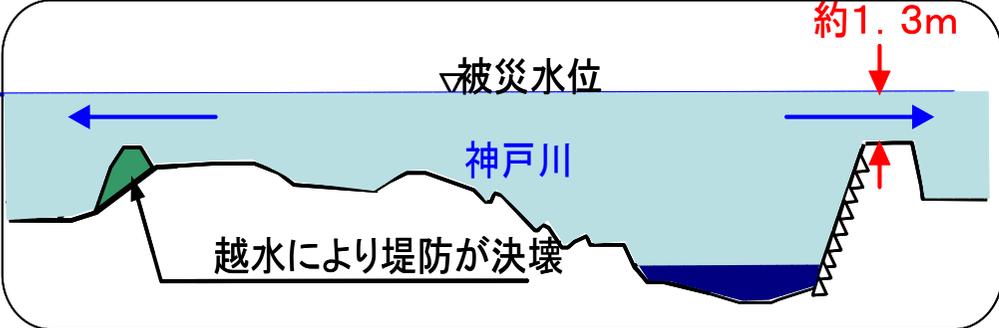
※災害対策等緊急事業推進費は、住民の安全・安心の確保に資することを目的とし、洪水・高潮・地震・津波等の自然現象による災害を受けた地域等において、災害対策として緊急に実施すべき事業を迅速に立ち上げ、又は推進するための経費です。



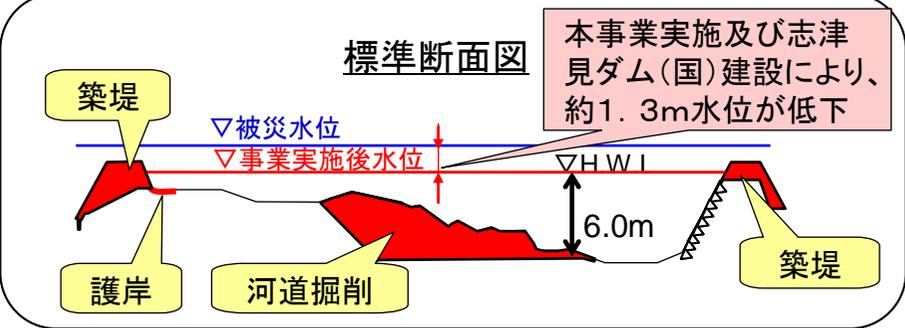
災害対策等緊急事業推進費 整備内容

甚大な浸水被害が発生した出雲市所原町において、緊急に災害対策を実施するH18災害対策等緊急事業推進費により、再度災害防止の観点から河川整備を推進し、早期効果発現を目指します。

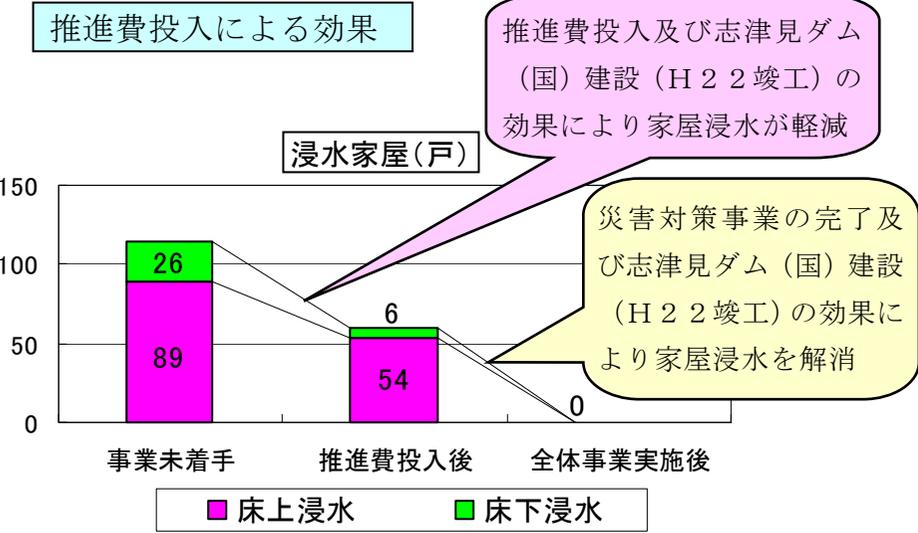
被災状況模式図



災害対策模式図



推進費投入による効果



○ソフト対策

- 出雲市では、今回の出水被害により臨時の防災会議を開催し、地区の連絡体制、避難誘導體制、広報体制の改善等を検討しており、平成18年度中に見直しを完了する予定です。また、本事業を実施する所原地区においても、防災マニュアルの見直しを行うべく、避難場所の見直しやルートについて検討しています。
- 所原地区について、平成19年度出水期までに浸水想定区域図の作成・公表を行います。なお、出雲市では洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な事項を記した「洪水ハザードマップ」を平成19年度末までに公表する予定です。